

# 夕 や ケ 【低学年3・3】

## 効果的な映像やBGMを取り入れた指導

- (1) 主題名 すがすがしい心 [3-(3)]
- (2) ねらい 美しいものや清らかなものに素直に感動する心情を育てる。
- (3) 資料名 「夕やけ」
- (4) 授業の展開例

	学習活動	主な発問と児童の心の動き	留意点
導入	1 みんなで歌を歌う。	みんなで楽しく歌いましょう。	なごやかな雰囲気をつくる。
展開	2 資料を読んで、わたしとおばあちゃんの気持ちについて話し合う。	<p>わたしは、なぜ夕やけの歌を口ずさんだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいだったから。</li> <li>・歌を思い出したから。</li> </ul> <p>おばあちゃんはどんな気持ちでいっしょに歌いだしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあちゃんも、きれいだなあと思った。</li> <li>・いっしょに歌いたいと思った。</li> </ul> <p>夕日を見つめる二人の心の中をのぞいてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいだなあ。</li> <li>・また見たいなあ。</li> <li>・おばあちゃん、はやく元気になってね。</li> <li>・いっしょに見ることができて、うれしいなあ。</li> </ul>	<p>「オレンジ色の夕やけが広がっています」の部分で美しい夕やけの写真を提示する。</p> <p>夕やけに感動したことをおさえる。</p>
開拓	3 自分の感動体験を想起する。	<p>何かを見て、きれいだと思ったことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな虹を見たことがあるよ。</li> <li>・せみが生まれるときにすごくきれいだったよ。</li> </ul>	<p>カットの入ったワークシートを用意し、書き込ませる。</p> <p>BGMを効果音として流す。</p> <p>これまでに体験した感動場面を心情豊かに表現させる。</p>
終末	4 教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ を見たときにはねえ、すごくきれいだったよ。その はねえ・・・</li> </ul>	教師が自分の感動体験を話して聞かせる。

## 夕やけ

よしこのおばあちゃんは、びょうきでにゅういんしています。あまりうごけないので、いつもベッドでねています。

ある日の夕方、よしこがおばあちゃんのおみまいに行くと、うすぐらいへやの中で、おばあちゃんは何だかさみしそうにぼんやりしていました。大好きなさんぽに行けないからさみしいのかな、よしこはそう思いました。

「おばあちゃん、きたよ。」

よしこはおばあちゃんに元気よく声をかけて、ベッドのよこのカーテンをさあっとあけました。すると、どうでしょう。田がさめるくらいきれいなオレンジ色の夕やけがひろがっています。

オレンジ色の空を見ていると、いつのまにか、

「ゆうやけこやけでひがくれてー・・・  
よしこは口ずさんでいました。

すると・・・、

「お手つないでみな帰ろう・・・。」

おばあちゃんもいっしょにうたいました。一人でうたつていると、よしこはなんだか、おばあちゃんと手をつないで夕やけの中を帰つているような気がしました。さつきまで少しあみしそうだったおばあちゃんの顔が、ここにしています。

そのうち、オレンジ色だった空は、こい赤色の空になりました。よしこはおばあちゃんと手をつないで、ゆっくりとしづんでいく夕日をいつまでも見ていました。

# 活用に生かすための実践報告

「夕やけ」

## 1 主題の設定

自然と関わる直接体験が少ない子どもたちは、身の回りの美しさや変化などに感動することが少なくなってきた。そこで、四季の変化や自然の営みのすばらしさに気付かせ、美しいものや清らかなものにふれることによって、すがすがしい気持ちになれることを感じ取らせたい。

小さな事象にも心を動かせる素直な感動と心のゆとりを大事にし、自然や人に対するやさしさや思いやりの気持ちを育てていきたい。

## 2 指導過程の工夫

夕やけの美しさに引き込まれて歌いだすよし子の気持ちにせまるために、夕やけの写真を提示しイメージを膨らませたい。夕やけをみつめる二人の心の中をワークシートに書かせることによって、二人の心のすがすがしさや、よし子のおばあちゃんを思いやるやさしい気持ちなどに気付かせたい。

生活の振り返りでは、身近な小さなところにも心を動かせるものが、たくさんあることに気付かせたい。

## 3 発問の工夫

夕日を見て一緒に歌い出した二人の心の中を尋ねることで、夕日の美しさや祖母に対する学級の子どもたちの素直な気持ちを引き出したい。そして、次のきれいだと思った生活体験につなげていきたいと考えた。

## 4 児童の反応

（よし子やおばあちゃんは、どんな気持ちで歌いだしたのでしょうか。）

- ・夕やけがきれいだったから歌った。
- ・赤とオレンジ色できれいだったから。
- ・何かを見るとその物の歌を歌いたくなる。
- ・歌を歌うと楽しくなるから歌った。

・よし子さんが歌っていたから、楽しくなって歌った。

・二人で歌ったら楽しいから。

・よし子さんが来てくれてうれしかったから。

（夕日を見つめる二人の心の中をのぞいてみよう。）

・こんなきれいな夕やけはじめて見るよ

・きてくれて、ありがとう。

・よし子がきてくれるからうれしいよ。

・ここに来てよかったよ。また来たいよ

・こんなきれいな夕やけが見れてうれし

いよ。

・おばあちゃんといふと楽しいな。

（何かを見てきれいだと思ったことがありますか。）

・月見をしたときの月がきれいだったよ

・夜に火星を見たら赤くてきれいだったよ。

・川の中にきれいな石があったよ。

・花びらに雨粒がきらきら光っていてきれ

いだったよ。

・虹を見たのがきれいだったよ。

## 5 実践者からの一言

本教材で敬虔という価値にせまるためには、夕やけの美しさを子どもたちに印象づけることがポイントである。そのためには、夕やけの資料提示をする時、プロジェクトを使って黒板いっぱいに大きく投影するなどの工夫が必要である。

自分の生活を振り返り発言する時に「が美しかったです。」と言うだけでは美しさに共感することができにくい。「だから美しいと思ったよ。その時どんな気持ちだったよ。」とその時の様子と心の中を出させることによって、自分の中の「美しいと感じたことや、気持ちがよかった」体験を意識化させることができたと思う。

（黒川小学校 荒谷 誠）